

看護業務の効率化 先進事例アワード2020

特別賞

医療法人社団 おると会

浜脇整形外科病院

整形外科分野における術後病衣の工夫

プレゼン動画視聴はこちら ▶



「忠恕の心」を医療の原点に皆様に信頼される 整形外科の全領域に対応できる病院



医療法人社団 おると会 浜脇整形外科病院

所在地 広島県広島市中区

従業員数 368名 うち看護職員数：162名(2020年12月1日現在)

病床数 160床 ケアミックス 一般病院
(急性期80床、回復期40床、地域包括ケア病棟40床)

入院基本料看護配置 急性期一般入院基本料4



背景

患者や医療者に負担のかからない病衣を

整形外科分野における肩関節や上腕骨等の手術においては、術後に肩関節や上肢を保持する装具を装着する場合がある。

- 病衣の上から装具を装着した場合、清拭、更衣また処置などに応じて装具や衣服の着脱が必要となり、患者自身に負担があった。
- 複数の医療者による介助が必要で着脱に時間がかかっていた。
- 医師からも、創部の観察にあたり、看護師を呼ぶ必要があることや、その都度患者に負担を強いる状況を何とかしたいといった声があった。

目的

**術後の処置時 創部確認時 清拭時など
負担のない環境づくり**

患者の負担の軽減

看護師の業務負担の軽減



取組の経緯

2018年
9月

看護師長による 原案の作成から 開発・運用まで

- 創部の確認やケアに時間と手間がかかっており、患者・医療職双方に負担にならない、使いやすい病衣はないものかと常々考えていた。
- 装具を素肌に装着することで、患者側に違和感や肌トラブルが見受けられていた。
- 市販品に似たような病衣はあるものの、下着タイプのものが多く、機能・デザイン・素材・価格などで課題を感じていた。
- 看護部(OP室・病棟)と物品管理や外部業者との交渉を担当する営繕課がチームとなり、Tシャツを改造して開放部やマジックテープの位置などを試行錯誤しながらサンプルを作成。納得のいく病衣の原案が完成した。
- 浴衣型を作成。院内独自の貸し出し病衣として扱う。
- 導入当初は浴衣型のみだったが、現在はOP当日は浴衣型、翌日以降は甚平型を着用。

Point!

コストについて

- ✓ コストはレンタルで回転させることでも2.6年で減価償却できると計算。病院側からの反対はなかった。
- ✓ 導入当初は病院が発注し、購入した後にレンタルとしていたが、現在は外部業者が作成してレンタル、クリーニングまで一括で行っているため病院側の負担はない。

取組の経緯

2019年
3月

全病棟で運用開始

- 院内の貸出病衣の浴衣型に加えて甚平型も作成
- 週3回交換1日100円（1日のみ利用150円）で運用開始。

2020年
4月

入院セットとしてのレンタルを開始

- 入院セットの業者の導入と同時に、肌に直接触れることから、看護師のアイデアで素材をポリエステル+キュプラの優しい肌触りのものに変更を業者に依頼。
- 浴衣型に加えて、甚平型も作成。

Point!

入院セットのレンタルについて

- ✓ 入院セットは1日430円で病衣、タオル類、日用品のセットまたは1日270円で病衣と日用品のセットとして提供。
- ✓ 特殊病衣が必要な一部の期間のみをレンタルすることで、患者にとっても安価で便利である。

入院セットサービスをご存知ですか？

入院セットサービスは、入院の際に必要なタオル・病衣・紙おむつ・日用品などを日額定額制でレンタルいただけるサービスです。
入院の際は、こちらの入院セットサービスを推奨しております。

病衣・タオル レンタルセット

①病衣・タオルセット

430円
（税込）
×ご契約日数

- 衣類
・病衣
ご容態に応じて様々なタイプをご使用できます。
（甚平）
（浴衣型）
（手術時用特殊タイプ）

使用目安枚数
いずれか3枚/週

- タオル類
・バスタオル
・フェイスタオル

使用目安枚数
3枚/週
1枚/日



②病衣セット

270円
（税込）
×ご契約日数

- 衣類
・病衣
ご容態に応じて様々なタイプをご使用できます。
（甚平）
（浴衣型）
（手術時用特殊タイプ）

使用目安枚数
いずれか3枚/週



セットお申し込みの方は下記日用品が無料でご利用できます。

● F10Xティッシュ ● 歯ブラシ ● 洗剤 ● ウェットティッシュ



● ディーパ ● リンスインシャンプー



注意：ディーパー、リンスインシャンプーは浴場設置になります。

当院で作成した肩病衣

- 肩の部分がマジックテープで接着されており、肩の部分で前身ごろと後ろ見ごろが分離可能。
- 肩・上肢関連の全手術に対応できる。
- 導入当初は浴衣型のみだったが、抜糸までの期間にも利用することを考え甚平型も導入（レンタルのため、手術当日は浴衣型、翌日以降は甚平型と変更が可能）。
- 市販品がほとんどなく、あっても高価なため作成に至った。



■ 成果：実現した「看護業務の効率化」

1 業務にかかる時間や人数の削減

- 処置や創部の確認時さらに清拭時などに、衣服を着脱する際の時間や人員が削減された。

※取組前は、患者1人あたりの処置に関連して、衣服の着脱が必要となり4～5分かかっていたが、1分程度ですむようになった。

※また、創部の確認のため目視するだけでも時間や労力がかかっていたが、現在は肩部分のマジックテープを外すだけで確認が可能となった。

- 処置・ケアへの負担の軽減ができたと感じている。

■ 効果：看護業務効率化によって「もたらされた効果」

1 患者の満足度の向上

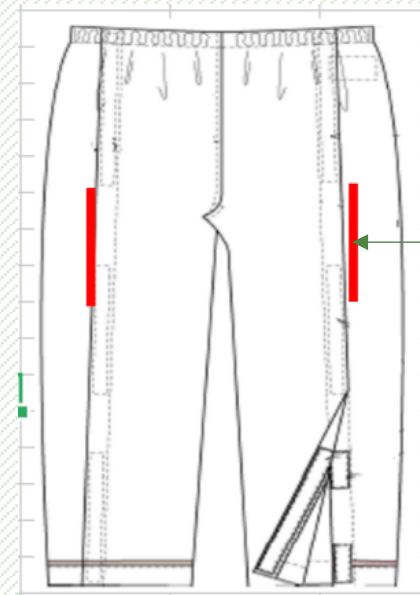
- レンタルで病衣が借りられることで入院時の荷物の軽減とコストが軽減される。
(市販品を購入すると1枚3000円前後であり、複数枚購入しなければならない上に洗濯の手間)
- 処置等に係る衣服の着脱が不要となり、患者の負担軽減にもつながる。
- 不必要な露出がなくなり、患者の羞恥心に配慮した実施ができる。

2 多職種の満足度向上

- 創部の観察等を行う医師にとっても、患者や看護師の負担が少なくて済むことがメリットとなっている。
- 医師からは肩病衣だけでなく下肢病衣のリクエストがあった(現在制作中)。

病衣の展開

- 肩病衣だけでなく、浴衣型で脇の部分が離れる特殊病衣を術後には全員が着用し、術後のドレーン管理や脊椎の創部の確認時に効果的。
- 現在は、股関節の術後や膝の術後管理として下肢の膝下と大腿上がマジックテープで開閉できる下肢病衣を作成中。
(2021年初頭には導入予定)



赤い部分は
縫い付けられ
ている

Point!

取組を今後導入するにあたって

- ✓ 様々な工夫の病衣を導入することで整形外科の全ての術後に適応できる。
- ✓ レンタルで貸し出すことで必要な期間に必要な病衣を安価で提供することが可能となる。